

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4020	(H.24)No.	4020-2
-----------	------	-----------	--------

事務事業名	一般市道整備事業(道路河川室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	道路河川室	中森 厚志	63-7693
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	393502
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 土木費	一般市道整備事業	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	一般市道整備事業	

## 3. 事務事業の概要

<p style="text-align: center;">事業概要</p> <p>市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。</p>	<p style="text-align: center;">めざす効果(事業目的)</p> <p>生活道路の整備を進め、快適な道路環境及び地域間の道路ネットワークの形成を図ります。</p>
--	---

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
					市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 市道改良(9路線) 137,327千円 ・改良工事 L=921m ・用地買収 A=349.63㎡ ・補償補填 N=1式 ・委託料 (測量設計、道路用地維持管理) ・事務費 (不動産鑑定等)  <平成22年度からの 繰越明許費 8,317千円 >		[事業内容(事業量)・事業費] 市道改良(8路線) 86,200千円 ・工事 L=380m ・調査設計 N=5路線		補助金・交付金	その他 ( )	
	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)				
直接事業費	(8,317千円) 137,327千円	86,200千円	95,000千円	100,000千円	105,000千円		
財源内訳(千円)							
国庫支出金							
県支出金							
地方債	(8,300) 136,800	86,200	95,000	100,000	105,000		
その他( )							
一般財源	(17) 527	0	0	0	0		
人工数	職員 (2.20人) 2.20人	1.50人	1.50人	1.50人	1.50人		
臨時職員等							
概算人件費	(16,060千円) 16,060千円	10,950千円	10,950千円	10,950千円	10,950千円		
+ 総事業費	(24,377千円) 153,387千円	97,150千円	105,950千円	110,950千円	115,950千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	m	-	-	-	-	620
	実績		527	554	571	921	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	49.0
	実績		47.5	46.1	45.4	44.4	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
道路事業予算が年々減少している状況下、特に地域内生活道路等については部分的改良など、柔軟な整備手法の採用について関係地域と協議しました。	引き続き安全な交通環境を確保するために既存道路の改良を推進します。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
人口の減少、高齢化社会などにより、地域内の生活道路に対する安全性の向上に関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	効果的な資材や工法の採用
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・生活道路の整備(赤目) ・生活道路の整備(箕曲)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	関係地域と具体内容についての協議
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	柔軟な整備手法(部分改良等)の検討

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(現行)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載
・交通の利便性及び通行の安全性の確保が困難となる。 ・一般的に老朽化が進行しているが、優先順位に基づく適切な計画を行う必要がある。

### 特記事項

--